

殿山第二小だより

令和 4 年 10 月 28 日 第 21 号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

発行責任者 校長 山本 容子

朝夕と日中の寒暖差が大きく、体調管理には気を遣う今日この頃です。

学校では、日中の天候に恵まれ、校外学習や社会見学を予定通り行うことができています。また、芸術鑑賞では、体育館が舞台となり、役者の皆さんの演技を目の当たりにした子どもたちは、“表現する”ことの素晴らしさを実感することができたのではないかと考えています。“本物を見る”経験をこれからも大事にしていきたいと思っています。

実りの秋を迎えて

その2



10月20日 観劇会



10月19日(水)1年生は、大阪歯科大学の敷地内で、どんぐり拾いを体験させていただきました。ビニール袋いっぱいどんぐりを拾い集め、子どもたちは大喜びでした。拾い集めたどんぐりは、アサガオリース作りに活用する予定です。



さて、10月も終わりを迎え、11月は、本校創立150周年記念行事実施の月です。26日(土)は、三部制で、式典と土曜授業・学習発表会を行います。現在、各学年では、学習発表に向けて、歌や合奏、呼びかけ等、創立150周年を迎えた殿山第二小学校への想いを表現するための取組みをすすめているところです。

読書の秋

「読書の秋」という表現の由来は、中国・唐の時代の文章家・詩人「韓愈」(西暦768年～824年)が自身の息子のために、学問の大切さを詠んだ詩の中に『燈火親しむべし：意味は「秋の夜は涼しさが気持ちよく、あかりで読書するにはとても適している」』という一節があり、これが、今日の「読書の秋」の由来になっているそうです。親が息子に「学問は、読書が一番であり、息子よ！読書をきなさい！」という親心を込めてつくられた詩ということです。現在は、西暦2022年。ずいぶん昔から、「読書の秋」は人々に親しまれてきた言葉のようです。

殿山第二小学校の図書室も「読書の秋」にふさわしく、図書委員会の子どもたちが、アイデアを出し合いながら魅力あふれる図書室運営をすすめてくれています。

知識や様々な考え方は、お金で買うことは出来ません。『読書』は、読んだ人に、様々な宝物を与えてくれます。

「読書の秋」にふさわしく、本に親しみ、本を読むことの楽しさをたくさん実感してほしいと思います。

